

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2020年10月19日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

知力の日本代表を世界へ。

日本最大級の留学支援「東進 海外大学留学支援制度」

1人あたりの給付総額を

約 4,000万円に増額
(38万ドル、4年間合計)

計 **40名** [各学年最大
10名×4学年]
給付金は**返済不要**

東進ハイスクール・東進衛星予備校(以下、東進)を運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市代表取締役社長 永瀬昭幸)は、日本の未来を担い、世界にはばたくリーダーを育成するため、「東進 海外大学留学支援制度」を通じて、日本の高校生が世界のトップレベルの頭脳が集う海外大学(ハーバード、プリンストン、イェール、スタンフォード、マサチューセッツ工科、カリフォルニア工科、ケンブリッジ大学)への進学を支援してきました。このたび、本制度の支援内容を拡充いたしましたのでお知らせします。

1. 給付金の増額

給付金の総額を総額 38万ドル(年間 9.5万ドル4年間、約 4,000万円)に増額いたします。

これまで、一人あたりの給付金は、総額最大 28万ドル(年間最大 7万ドル4年間、約 3,000万円)でした。しかしながら留学するには、学費、寮費や保険料に加え、学習・研究、海外での日常生活にかかわる費用も嵩みます。そこで自己負担の心配なく存分に留学の成果をあげていただくため、支援内容の見直しを行い、給付金を増額することとしました。

※留学先大学により給付額は異なります。対象大学は詳細をご覧ください。

米国大学: 1人あたり総額 38万ドル(年間 9.5万ドル4年間、約 4,000万円)を給付

英国大学: 1人あたり総額 26万ポンド(年間 6.5万ポンド4年間、約 3,520万円)を給付

2. 対象大学の追加

オックスフォード大学(英国)を追加いたします。

オックスフォード大学は、人文学、数学・物理科学・生命科学、医学、社会科学の「部門」(Divisions)のもとに、考古学人類学、生化学、コンピュータサイエンス、美術など数多くの学部学科を設置する 13世紀起源の大学。ケンブリッジ大学と並ぶイギリスを代表する大学です。その起源は、1249年創設のカレッジ(学寮)からとされ、今も昔もあらゆる「知」の集まる場所として存在する世界有数の名門大学。『TIMES』世界の大学ランキング(2019~20)では第1位。



【東進 海外大学留学支援制度について】

1.目的

この奨学金は、「独立自尊の社会・世界に貢献する人財の育成」を教育目標として掲げる東進が、日本全国の未来のリーダー候補である高校生に対して、世界のトップレベルの頭脳が集う海外大学への進学を支援するものです。卒業後は各分野において、日本代表として世界を舞台に大活躍する人財となっていただくことを目的としています。

2.対象大学

ハーバード大学、プリンストン大学、イェール大学、スタンフォード大学、マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア工科大学、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学

3.対象人数

各学年最大 10 名

4.選抜方法

全国統一高校生テスト決勝大会の成績と、人物評価面接により支援対象者を選抜。
※全国統一高校生テストは年2回(6月・10月ごろ)開催。

5.支援内容

米国:1人あたり総額 38 万ドル(年間 9.5 万ドル 4 年間、約 4,000 万円)を給付(返済不要)
英国:1人あたり総額 26 万ポンド(年間 6.5 万ポンド 4 年間、約 3,520 万円)を給付(返済不要)

6.ウェブサイト

東進ドットコム www.toshin.com

東進の海外大学留学支援制度による留学生の体験記 www.toshin.com/USuniv/voice.php



知力の日本代表を世界へ。
海外大学留学支援制度

1人あたり総額**38万ドル**(約**4000万円**)4年間累計
各学年毎年最大**10名**を支援(給付金は返済不要)

日本の未来を担い、世界にはばたくリーダー育成を支援するため、日本全国の未来のリーダー候補である高校生に対して、東進は「海外大学留学支援制度」を発足しました。1人あたり総額最大**38万ドル**(約**4000万円**)4年間累計各学年毎年最大**10名**の留学を支援し返済不要。

留学支援対象の大学はまさに「知る限りの高学」。各社から輩出した人財たちがこの学び舎に集まり、「世界に良い変革をもたらしたい」という大きな理想の実現を目指し、自らの可能性を高めています。

題「後の世代のリーダーは、学生たちに社会のあるべき姿を伝える重要な時間。教える側も自覚願います。」

東進 海外大学留学支援制度

海外大学留学支援制度ウェブサイト

株式会社ナガセについて

1976年創立。日本最大のナガセの民間教育ネットワークは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。シェアNO. 1の『予習シリーズ』と最新のAI学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進ハイスクール中学部」「東進中学NET」、AO・推薦合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンク等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。また、他の追随を許さない歴代28名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、日本初の五輪仕様公認競技用プール「AQIT(アキット)」を活用し、悲願の金メダル獲得を目指します。学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】
株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)
TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com